

20中産建第361号
平成20年10月14日

国土交通省道路局長 様

中島村長 小室 康彦



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

記

平成20年9月19日付け国道企第37号にて依頼のありました標記の件について、別紙様式1から別紙様式4のとおり回答しますのでよろしくお願いします。

事務担当：中島村 産業建設課
専門主任技師 吉田政樹
TEL:0248-52-3484
FAX:0248-43-2273

今後の道路行政について意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福島県 中島村

○本村においては、現在維持管理を行っているものの整備路線の経年により、舗装補修を要する局面を迎えている。

これを解消するための財源確保がままならない状況にある。

全ての道路は社会資本としての位置づけであり、国において地方への道路財源予算確保。

○地方の道路は交通量が少ないが生活用道路として欠かせない路線が多くある。

法令を無視するものではないが、工事費負担の軽減及び災害対策のための生活道路整備率を高めることも重要。

高規格でなくとも通行に支障の無い道路整備財源としての地方事業支援制度。

○地方の道路整備に合致した道路行政の考察。

今後の道路行政について意見・提案

様式 ②

②－1地域の現状と抱える課題

福島県 中島村

○現状

本村においては、平地農村にあつて県道4路線(内2路線が主要地方道)、村道については、平成19年4月1日現在、幹線1級村道5路線(10,071m)、2級村道13路線(18,113m)である。その他村道88路線(48,999m)であり、路線数106、全延長77,183m、改良率92.5%、舗装率93.4%となっている。

○課題

- ・主要地方道 棚倉矢吹線の早期整備
- ・同上の路線内にあつて県道泉崎石川線との交差点部の交通渋滞の緩和及び交通事故解消を図るため早期改修整備
- ・県道泉崎石川線における通学児童生徒の安全を守るため、歩道未整備箇所の整備
- ・経年劣化における村道舗装の改修整備

今後の道路行政について意見・提案

様式 ③

②－2地域の目指すべき将来像

福島県 中島村

○河川改修済み(1級河川阿武隈川)堤体を利用した、サイクリングロードの整備

今後の道路行政について意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

福島県 中島村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・主要地方道 棚倉 矢吹線の早期整備 ・経年劣化における 舗装の改修整備 ・歩道の整備		自転車・歩行者の安全確保。 交通の円滑化。 社会資本の維持 生活道路としての安全確保 弱者の安全確保 車輛の安心走行	